



さくらの学び舎



桜学園つくば市立さくら小学校 学校だより第6号 令和8年9月30日

自分の「やってみたい」が、みんなの幸せにつながる学校づくり

～心が動く瞬間を教育の原動力に～

保護者の皆様、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。
今号では、10月24日(土)の第1回さくら小スポーツフェスタ2026(運動会)について特集します。

【記念すべき 第1回スポーツフェスタ2026 ～子どもたちの「やってみたい」が輝く日～】

本校では、運動会を「順位や勝敗」のみならず、子どもたちが仲間と関わりながら、自分たちで考え、挑戦し、成長していく大切な学びの場と捉えています。そこで、行事名を「スポーツフェスタ」といたしました。運動の得意、不得意に関わらず、一人ひとりが自分の目標をもち、仲間と協力しながらスポーツを楽しむ場にしたいという思いを込めています。

つくば市教育大綱が掲げる「一人ひとりが幸せな人生を送ること」、そして本校が目指す「自分のやってみたいが、みんなの幸せにつながる学校づくり」の延長線上に、このスポーツフェスタのこともあります。現在、4～6年生で実行委員会を立ち上げ、スローガン「**みんなが主役 心をつなぐ 限界突破**」も決定しました。10月からは練習が本格化し、学校全体の気運も高まっています。

【スポーツフェスタを通した5つの学び】

競技・演技だけでなく準備や練習の過程も含め、以下の5つの力を育むことを大切にしています。

★自分の力を試し、挑戦する力

結果だけでなく、「もっと速く走りたい」「動きをそろえたい」という一人一人の「やってみたい」を出発点とし、試行錯誤する過程を大切にします。

★自分で考え、選び、行動する力

教師に言われたことをこなすのではなく、「どうすれば上手くいくか」「よりよくなるためにどうするか」など、自ら考え行動する力を育てます。

★みんなで一つのものを創る力

一人ではできない活動を通して、「自分の頑張りがみんなにつながり、みんなの頑張りが自分を支えてくれる」という実感を育みます。

★勝敗を超えて互いのよさを認める力

勝敗の喜びや悔しさも大切な学びですが、併せて「走るのが得意」「励ますのが得意」「運営面で支えるのが得意」等、一人一人の違いやよさを認め合える場にします。

★学びを振り返り、次へつなげる力

当日をゴールにせず、「何を頑張ったか」「何ができるようになったか」等を振り返り、一人ひとりの達成感等をこれからの学校生活や日常に生きる力へとつなげます。

【保護者の皆様へのお願い】

◇「応援いただきたい視点」と「お声かけ」等のご協力について

練習段階から以下の点にご留意いただき、温かい声かけをお願いできれば幸いです。

★応援の視点：「頑張りが目に見える姿」「友達との協力」「今年の姿からの成長」等

★お声かけ：「何が一番楽しかった？それはどうして？」「どんな協力をしたの？」「どんな工夫をしたの？」等

勝敗の視点のみならず、お子様の「学び」や「感じたこと」に耳を傾けていただければと思います。学校でも、子供たちの互いの頑張りが良さを認める取組として、友達・教師・保護者からのメッセージを紹介する「さくら応援ボード」企画しています。一人一人が集団の中で認められ、自己有用感を味わえるよう、保護者の皆様へも励ましのコメント等をお願いする予定です。後日、ご依頼をいたしますのでご協力をお願い申し上げます。

◇観覧時の協力について

本校のグラウンドは児童数に対してやや手狭であり、観覧スペースに限りがございます。観覧・撮影場所、トイレや移動動線等に一部制限を設けさせていただきますが、ロープによる規制等は設けません。詳細は、後日お示しいたしますので、確認の上ご観覧いただければ幸いです。保護者の皆様には何かとご不便をおかけしますが、ご理解とご協力の程よろしくお願い申し上げます。

※スポーツフェスタを通して、子どもたち一人一人の成長を、皆様とともに分かち合う一日にしたいと思います。記念すべき第1回目の開催を成功に導けるよう、職員一同精一杯準備してまいります。保護者の皆様には、テント設営をはじめ、準備段階からご協力いただけますこと、誠にありがとうございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。